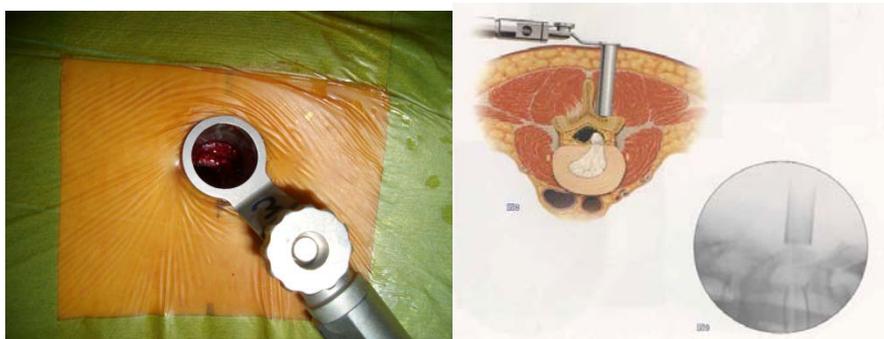


<手術の例>

腰椎椎間板ヘルニア

皮膚の切開が約 2 cmの顕微鏡下ヘルニア摘出術の手術を行うために術後の痛みが少なく入院期間は平均 5 日間で、早期の社会復帰を目指しております。



脊椎圧迫骨折

原則的に陳旧例に行っております。骨セメントを使用した経皮的椎体形成術を行い平均 3 日間の入院期間で治療費は健康保険適応となっております



この手術はいろいろな原因で発生した脊椎圧迫骨折に対して行います



直径 4 mm程のカテーテルより出したバルーン（風船）を使用した手術です



カテーテルの挿入



バルーンの拡張



セメントの注入



手術後の傷あと

